

Ⅱ 水道事業広域連携

1 水道事業広域連携の推進

市町村等の水道事業については、施設の老朽化に伴う大量更新時期の到来や人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、一層の経営健全化が求められている。こうした状況の中、国から平成 28 年 2 月に「市町村等の水道事業の広域連携に関する検討体制の構築等について」通知がなされ、広域連携について検討することとされた。また、平成 30 年 12 月の水道法改正により、広域連携についての役割が明確化され、県は広域連携の推進役、市町村等は水道事業の基盤強化に努めることとされた。

本県においても、県内水道事業の経営基盤の強化や経営効率化の推進を図るための一つの方策として広域連携の検討を進めている。

2 水道事業広域連携への取組

- 平成 28 年度
 - ・各圏域に設置されている既存の水道連絡協議会等を活用した検討体制の構築
 - ・市町村等に対し、今後の広域連携の取組等を説明
- 平成 29 年度
 - ・今後の広域連携の必要性や課題を把握するためのアンケート調査の実施
 - ・市町村等に対し、他県の先進事例やアンケート結果を説明
- 平成 30 年度
 - ・宮城県水道事業広域連携検討会設立準備会を開催(H30.7.31)
 - ・宮城県水道事業広域連携検討会を設立(H31.1.11)
 - ・第 1 回宮城県水道事業広域連携検討会を開催(H31.1.11)
- 令和元年度
 - ・市町村等の現状把握・分析、将来推計や広域連携シミュレーションの実施
 - ・第 2 回宮城県水道事業広域連携検討会を開催(R1.7.31)
 - ・第 1 回宮城県水道事業広域連携検討会地域部会を開催(R2.1.24 他)
 - ・第 3 回宮城県水道事業広域連携検討会を開催(R2.3.26)
- 令和2年度
 - ・県内で先行的に広域連携を進めようとする地域(モデルエリア)を対象に、勉強会の開催やシミュレーションによる重点的な支援を実施
 - ・第 2 回宮城県水道事業広域連携検討会地域部会を開催(R2.10.12 他)
 - ・黒川地域における広域化・共同化勉強会を開催(R2.7.21 他)
 - ・塩釜地区における広域連携勉強会を開催(R2.8.20 他)
- 令和3年度
 - ・宮城県水道事業広域連携検討会(令和3年度第1回)を開催(R3.9.1)
 - ・有識者の俯瞰的・客観的意見を聴取するため、水道事業のあり方懇話会を開催(R3.10.5 他、計4回)
 - ・宮城県水道事業広域連携検討会地域部会(令和3年度第1回)を開催(R3.12.15)
 - ・宮城県水道事業広域連携検討会地域部会(令和3年度第2回)を開催(R4.3.7 他)
 - ・水道事業体の枠を超えた施設統廃合の検討を実施

3 宮城県水道事業広域連携検討会

県内の市町村及び企業団における水道事業の経営健全化を図ることを目的として広域連携等を含めた具体的な方策を検討するための宮城県水道事業広域連携検討会を設立した。

○設立年月日 平成 31 年 1 月 11 日

○構成

- ・宮城県(食と暮らしの安全推進課, 市町村課, 企業局水道経営課)
- ・県内全水道事業体

宮城県水道事業広域連携検討会設置要綱

(設置の目的)

第1 水道事業については、管路や施設等の老朽化に伴う大量更新期の到来や、人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれ、経営環境が厳しさを増しているところであるが、将来に向けて安全で良質な水を安定的かつ効率的に供給し続けていくためには、県内の市町村及び企業団における水道事業の経営健全化が必要であることから、広域連携等を含めた具体的な方策を検討するため、宮城県水道事業広域連携検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2 検討会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 多様な水道広域連携の検討に関すること。（維持管理業務や総務関係の事務処理等の一体化・浄水場等施設の共同化等）
- (2) 水道の現状及び将来の見通し並びに課題の把握や共有に関すること。
- (3) その他宮城県における水道事業の健全な発展に関すること。

(構成)

第3 検討会は、宮城県及び別表1に掲げる水道事業体をもって構成する。

- 2 検討会の委員は、別表1に掲げる水道事業体の水道事業担当課長の職にある者及び別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 検討会の会長は、宮城県環境生活部食と暮らしの安全推進課長の職にある者をもって充てる。
- 4 検討会の副会長は、宮城県総務部市町村課長及び宮城県企業局水道経営課長の職にある者をもって充てる。

(会長及び副会長の職務)

第4 会長は、検討会の事務を統括し、検討会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5 検討会の会議は、会長が招集し、これを主宰する。

- 2 会長は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができるものとする。
- 3 検討会に別表3に掲げる地域部会（以下「部会」という。）を置く。
- 4 部会では、各水道事業体における水道の現状及び将来の見通し並びに課題を把握し、共有するとともに、各水道事業体間の広域連携等に係る検討を行うものとする。
- 5 部会の長（以下「部会長」という。）は、部会を構成する水道事業体の委員の互選により選出する。
- 6 部会は、部会長が招集し、これを主宰する。
- 7 検討会は、部会のほか、適宜テーマを設け、検討する委員会を設置することができる。

(庶務)

第6 検討会及び部会の庶務は、宮城県環境生活部食と暮らしの安全推進課及び宮城県総務部市町村課において処理する。

(その他)

第7 この要綱に定めるもののほか、検討会及び部会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成31年1月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

別表1 (第3関係)

仙台市，塩竈市，気仙沼市，白石市，名取市，角田市，多賀城市，岩沼市，登米市，栗原市，大崎市，富谷市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，丸森町，亘理町，山元町，松島町，七ヶ浜町，利府町，大和町，大郷町，大衡村，色麻町，加美町，涌谷町，美里町，女川町，南三陸町，石巻地方広域水道企業団

別表2 (第3関係)

宮城県総務部市町村課長，宮城県環境生活部食と暮らしの安全推進課長，宮城県企業局水道経営課長

別表3 (第5関係)

部 会	部会を構成する水道事業体
仙南地域部会	白石市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，丸森町，亘理町，山元町
仙塩地域部会	仙台市，塩竈市，名取市，多賀城市，富谷市，松島町，七ヶ浜町，利府町
大崎地域部会	栗原市，大崎市，富谷市，松島町，大和町，大郷町，大衡村，色麻町，加美町，涌谷町，美里町
東部地域部会	気仙沼市，登米市，栗原市，女川町，南三陸町，石巻地方広域水道企業団